

シラバス(中国語Ⅱ)【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	中国語Ⅱ	学年	3	使用教材	教科書	仲間で話そう中国語 初級から中級へ	朝日出版社
		必修修の別 (必・選必・コース選)	コース選		副教材	特になし ※必要により、プリントを配布	オリジナル
学科	国際文科	単位数	5				
系統科目	1年次:中国語Ⅰ(2単位)2年次中国語コース選択者:中国語Ⅰ(3単位)						

【学習目標】

- 1・2年次で学習した内容をふまえ、更に複雑且つ長文を読み理解し、自分が伝えたいことを中国語で伝える力を身につける
- 調べ学習等で自国の文化を深く理解し、日本を中国語で発信していく力を身につける
- 中国語検定3級の取得を目指す。

【学習方法のポイント】

- 1 毎時間の授業での学習のねらいを示すので、「何を学ぶのか」を意識して授業にのぞみましょう。
- 2 授業における疑問点は授業中あるいは授業後に積極的に質問するなど、あやふやにしないようにしましょう。
- 3 授業中は出来るだけ多く中国語を聞き、できるだけ中国語で表現することを心掛ける。
- 4 ノートは自分が復習の時に分かりやすいように工夫しまとめる。(学習日時や単元等も記入するといいい)

【学習評価と観点】

- 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとめりと下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	i 中国語に興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいるか					
	ii 単元ごとのプリント、課題等をきちんとこなしているか					
	iii ファイルやノートがきちんとまとめられているか					
②思考・判断	i 伝えたいことをこれまで学習したことを駆使して中国語で伝えられているか					
	ii 場面状況に応じて、学習したことの使い分けができているか					
③表現・技能	i 学習した語句を使って伝えたいことが伝えられるか					
	ii 学習した語句・文法をを使って書きたいことを書くことができるか					
	iii 自国の文化を中国語で発信できるか					
④知識・理解	i 学習した内容がきちんと理解できているか					
	ii 中国や中国語圏の歴史・文化・生活習慣等の基本的なことを理解しているか					
	評価方法／観点	①	②	③	④	備考
	学習状況観察	◎	◎	◎	◎	自己評価の実施
	ノート・ワークシート	◎	○	○	◎	学習事項が分かりやすくまとめられている
	課題レポート等	◎	○	○	○	長期休業中の課題を含む
	単元テスト等	—	○	○	◎	豆テスト、発表テストを実施
	定期考査	—	◎	◎	◎	中間・期末(2学期)、学年末(3学期)

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- 学習の記録簿を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

			教科書(単元)	備 考
学期	1学期	中間	仲間で話そう中国語第6・7課	授業内で実施,リスニング問題あり
		期末	仲間で話そう中国語第8・9課	リスニング問題あり
	2学期	中間	仲間で話そう中国語第11・12課	授業内で実施,リスニング問題あり
		期末	仲間で話そう中国語第12課	リスニング問題あり
	3学期	学年末	※実施しない	進路別時間割のため

【学習サポート】

- いつでも、学習に関する相談を行うので、理解の難しいところやつまずいている箇所があれば、早めに解決していこう。
